

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	リエブラッツ草津		
○保護者評価実施期間	2024年11月18日		～ 2024年12月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2024年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・言語聴覚士・保育士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっている。	<ul style="list-style-type: none"> 各専門職がプログラムの作成に関わっている。 個別療育では専門的支援実施計画書を作成。 一人ひとりのアセスメントを各専門職の視点で行うことができている。 保護者とのフィードバックの時間をしっかりと設けている。 専門職の配置に対する周知をチラシ等作成し、相談支援事業所・行政等に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 標準的なバッテリーを用いて、客観的な評価、アセスメントを行い、強みを活かした支援・弱みに対する環境調整や配慮を行っている。
2	法人内で毎週小児、発達に関する研修や事例検討を行う機会がある。	<ul style="list-style-type: none"> 業務時間内に研修があることで、多くのスタッフが参加することができている。 他事業所と意見交換や情報共有を行うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所から事例を出す機会がなく、聴講のみが多かった。今後は積極的に事例検討に参加し、他事業所の様々な職種から意見や情報をもらい、療育に活かしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への非常時等への対応（緊急時・感染症等）に対する周知・発信不足。 訓練等実施していることでの発信不足。	<ul style="list-style-type: none"> 防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足。 Instagramを主とした発信機不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認の元、年度初めに保護者へ周知していく。必要時、冊子を作成。 Instagramやおたより等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく。
2	利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画・提供不足。	<ul style="list-style-type: none"> 療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報収集不足・取り組み不足。 年間計画として立案していない意識不足 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面を考慮しながら、近くの公園等から少しずつ交流の機会を増やしていく。また、地域の活動等の情報収集を行う。 研修会や保護者交流の企画立案において、内容に関しては保護者のニーズ・意見を聴取し、年間計画として立案する。
3			